

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0302011

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	職員住宅改修工事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	職員住宅(末広町2区・日の出仲町職員住宅)改修工事	関係課	#N/A	
事業目標	職員住宅改修4棟8戸	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○職員住宅改修工事 末広町2区職員住宅(1棟3戸) 日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1棟2戸)		末広町2区職員住宅1棟3戸 浴室脱衣室改修・建具工事 内部仕上工事・屋根等塗装工事		日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 内部改修・屋根改修工事	日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1戸) 内部改修・屋根改修工事	
	事業費(千円)	24,000	0	8,000	0	6,000	10,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	24,000		8,000		6,000	10,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	23,615	0	7,875	0	5,964	9,776
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	23,615		7,875		5,964	9,776	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		職員住宅改修工事(末広2区職員住宅) 7,875千円		日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 内部改修 5,964千円	職員住宅改修工事 9,776千円 日の出仲町職員住宅(1棟2戸) 日の出仲町職員住宅(1戸) 内部改修	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
第4期総合計画関連 (継続有り)		年度目標値	1棟3戸		1棟2戸	2棟3戸	
		年度達成率	#DIV/0!	98%	#DIV/0!	99%	98%

事業名	職員住宅改修工事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	淡路至尊
		評価者 作成者 職氏名	管財係長	花松賢一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	職員住宅改修
【抱える課題やニーズは】	住宅内外部の老朽化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な住環境の整備	① 職員住宅改修工事	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な職員住宅の維持管理		目標値 3戸
			実績値 3戸
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	職員住宅改修工事	日の出町職員住宅1棟2戸及び1戸の内部改修工事を実施する。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	職員住宅を整備することにより、職員住宅としての活用が推進されるとともに、本町における住宅難の解消にも繋がるため、計画的に事業を進める必要があると判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	住環境整備を進め、入居者を確保しているため有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	低コストな設計により事業費の抑制に努め、改修工事を行ったことにより、良好な住生活の確保及び入居者確保が図られており、コストに見合った効果は得られていると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

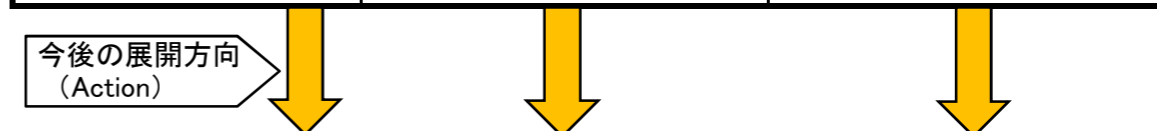
公平	判断の理由	職員住宅を整備し、入居者を確保していることにより、本町全体の住宅難の解消にも繋がるため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
改修工事により施設が延命化され、入居者の確保も図られたことから、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
住環境を整備し、施設の延命化を図るためにも、今後も計画的に事業を進める必要がある。		